

秋の特別集会のご案内

入場無料

「この、神の恵みを」

「この、神の恵みを無にしない」と告白する使徒パウロは、何に、何故それほど感動しているのでしょうか。ともに聖書に聴きましょう。

今、あなたも、神の恵みを受け取ることができるのですから。

講師 聖書宣教会・聖書神学舎 校長

あかきかいづみ
赤坂泉 先生



1959年三重県伊勢市生まれ。

東京都羽村市在住。

医療宣教師になってアフリカへ、と夢見ていた子ども時代から、深い迷いの時期を経て、大学時代に伝道者として生きる決断に導かれる。「神を愛し、人を愛する」願いから、聖書と臨床心理を、聖書神学舎、北米バプテスト神学校、ジョージア州立大大学院で学ぶ。日本バプテスト宣教団・伊勢バプテスト教会で16年間の牧会伝道の奉仕の後、2003年より聖書神学舎専任教師、2017年度より同主任牧師・校長となる。妻、恵美との間に、成人した3人の子がある。

(日本バプテスト宣教団・伊勢バプテスト教会教師、東海聖書神学塾講師)

【日時】

10月29日(日)

午前10時半

【会場】

東村山キリスト教会

東村山市本町 3-9-95

Tel.042-393-3168



- ☆ 乳幼児同伴でも安心の場所を用意してあります。
- ☆ 足の弱い方々のためにエレベーターを設置してあります。
- ☆ 耳の聞こえにくい方はFMラジオから大きな音で聞くことができます。(イヤホン)

東村山キリスト教会

東京都東村山市本町3-9-95

TEL & FAX 042-393-3168

E-mail: word1959@khe.biglobe.ne.jp

◎詳しい内容については、教会までお問い合わせください。

私たちの教会は、聖書を神のことばと信じるプロテスタントのキリスト教会です。

人生の渇きのいやし

今の時代、私たちは「渇きを覚える」ことが多くなりました。猛暑に渇き、大規模な自然災害に渇き、コロナ禍(疫病)に渇き、物価の高騰に渇き、戦争に渇き、愛に渇いています。時代の渇き、人生の渇きに苦しむ私たちに、イエス様は、人生の渇きをいやす「永遠のいのちへの水」について教えて下さっています。

『わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことはありません。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。』(ヨハネの福音書 4章 14節)

私たちは、人生の渇きに苦しむが、永遠のいのちへの水を、イエス様が与えて下さる。

人生の渇きのいやしについて、三つの点から見て行くことにしましょう。

①人生の渇きに苦しむ

イエス様は二千年前、イスラエルのサマリアで、一人のサマリア人の女性と出会い対話しました。ヤコブの井戸の前で、イエス様はのどの渇きを覚えていました。女性は、日中の一番暑い時刻に、人目を避けるようにして、水を汲むためにヤコブの井戸に来ることを日課としていたのです。イエス様は、神の御子キリストですから、その女性が人生の渇きに苦しんでいることを知っていました。その女性は、結婚と離婚を五度繰り返し、今一緒に暮らしている男性とは同棲関係にありました。女性が思い願う幸せ願望が、かえって女性の人生を不幸にし、女性は人生の渇きに苦しんでいたのです。私たちも、欲望の踏み車(トレッドミル)を回し続けることで、永遠に先に進むことができず、人生の渇きに苦しみ続けてはいないでしょうか。欲望の踏み車は、理想の異性、性的な快楽、社会的な地位、成功、収入の増加であるかもしれませんが、私たちの欲望は果てしなく、私たちは人生の渇きに苦しみ続けます。

②永遠のいのちへの水

イエス様は、人生の渇きをいやすのは、私たちの幸せ願望が実現することではなく、「永遠のいのちへの水」が与えられることだと教えています。イエス様は、「永遠のいのちへの水」は、「神の賜物(プレゼント)」、神様が無償で私たちに与えて下さるものと教えています。また、「生ける水」と教えています。私たちが生きるために必要不可欠なものです。「永遠のいのちへの水」とは、私たちが死を越えて生きることのできるいのちの水です。しかしサマリア人の女性は、「幸福ミス」を犯して、自分の思い願う幸せ願望を求め、「永遠のいのちへの水」を求めませんでした。私たちは二つの罪を犯します。一つ目の罪は、神様に背を向けて、「永遠のいのちへの水」を求めない罪です。二つ目の罪は、自分の幸せを求めて、壊れた水ためを掘り続ける罪です。私たちは罪を悔い改めて、人生の渇きをいやす「永遠のいのちへの水」に、真実に飢え渇こうではありませんか。

③イエス様が与えて下さる

「永遠のいのちへの水」は、イエス様だけが私たちに与えることができるのです。イエス様は神の御子キリストですが、のどの渇き、人生の渇きの苦しみを知ってお方として、私たちの世界に来て下さいました。私たちの弱さに同情して下さるイエス様に、私たちは恐れなく大胆に近づくことができます。

イエス様は、私たちの罪の身代わりとなって、「わたしは渇く」と叫んで、十字架で身代わりの死を遂げて、三日目に死から復活して下さいました。私たちが、神の御子イエス・キリストを信じ受ける時、イエス様がいつまでも決して渇くことのない「永遠のいのちへの水」を、私たちに与えて下さいます。

イエス・キリストについて、聖書について、もっと知りたいと願われる方は、東村山キリスト教会にお越しください。お待ちしております。

東村山キリスト教会牧師 滝野 晃人(たきのあきと)